



手のひら通信

8月第一号のイベントは、くりこま高原自然学校への2泊3日のおひさまキャンプです！



生憎の雨続きで肌寒い日々でしたが、子ども達は元気いっぱい！沢遊びにイワナ釣り、ドラム缶風呂に流しそうめん：と、盛り沢山のお楽しみにカラダいっぱい全力投球です。自分で出来る事は自分でするキャンプ。動物の世話に料理の手伝い。仕事もすっかりしましたよ。充実したおひさまキャンプでしたね！ (文・佐藤)



名古屋を拠点にフラワーアレンジメント教室やネイルサロンを経営されている『合同会社マリア』様より、ブリザードフラワーのアレンジメントとネイルの体験という女性にとつては夢のようなプレゼントをいただきました。

お母さんも子どもも、ボランティアさんもスタッフも、日頃のストレスを忘れ、癒しのひとときを過ごす事ができました。 (文・細木)



お問い合わせ
手のひらに太陽の家
宮城県登米市登米町寺地
辺室山17番地1
0220-23-9755(Tel)
0220-23-9756(Fax)
info@taiyounoie.org
http://taiyounoie.org/



自然の中にいる時、ふと、絵本の中のおとぎ話のような空想を誰もが一度はしたことがあるのではないのでしょうか？それほど自然はドキドキに溢れているもの。八月十六日、手のひらに太陽の家の子ども達の為に、絵本の世界と自然を合わせた様々な体験活動を、NPO法人樹木・環境ネットワーク様と前田建設工業株式会社様が行って下さいました。



絵本に出てきたカエルやミミズを探したり、夜の田んぼ道を歩いたり、子ども達の心を包む内容がぎゅっと詰まった素敵な一日でした。 (文・菅邊)

今年も、とよま北上川かっぱの会の方々の協力の下、北上川クルージングが実現しました。大空の下、雄大な北上川を満喫し、終点、北上川歴史公園では、流しそうめにバーベキュー、すいか割り、そして軽トラプールと、あまりの楽しさに子ども達からアングールの声が上がっていました。 (文・高橋)



かっぱの会の会長さんが、手のひらに太陽の家の子どものために三百坪の敷地一面にひまわりを植えて下さいました。子ども達は、手いっぱいひまわりの花を摘んで帰りました。 (文・高橋)



小さな旅 手のひらに太陽の家から、こんにちは ～利用者の方々より～

運動不足が気になってきたのですが、滞在中はそれを感じることも無く、常に体を動かしていても「疲れた」と言う言葉が出てこなかったのだ、とても良かったと思います。

(郡山市三十代女性)



おかげさまで親子共々元気に過ごすことができました。人見知りな娘ですが、周りのお友達の影響を受けて少したくましくなりましたよ。 (無記名)

子どもと一緒に遊んで伸び伸び遊んでしまいました。母さん達との夜のおしゃべりも地元では放射能を気にしていることをなかなか口にはできないので、ここでは気にすることなく話せたので、気が楽でした。

(福島市三十代女性)

大きな白い紙に自由に絵を描く太陽の家の子も達。魚やセミなど夏の生きものがいっぱい。その側で「何でも自由に書いてね。」と、優しく見守ってくれているのは株式会社伝耕の皆様。手のひらに太陽の家の子どものためにお絵描きWSを開いて下さいました。本当にありがとうございます。 (文・菅邊)



『ピオトープ入水式』
四月から造り始めたピオトープが八月十日、入水式を迎えることができました。ご協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。これからさらに、子ども達にとって魅力的な場になります。これからもどうぞよろしくお願い致します。



* 9月の予定*

* 9月の花は『りんどう(竜胆)』

* 花言葉は「誠実になる」。群生せず、1本ずつ凜と咲く姿が花言葉の由来だそうです。

イベント名	日時	内容
移動教室	19日～20日	福島市の笹谷小学校の特別支援級の子ども達が太陽の家に宿泊し、自然体験を行います。
森のようちえん合同キャンプ	21日～23日	くりこま高原自然学校・森のようちえん虹の森・手のひらに太陽の家の3つの森のようちえんの合同キャンプを行います。
森のようちえん	29日	月に1度開催している森のようちえん。親子で秋の森を散策です。

※イベントへの参加ご希望・参加費につきましては「手のひらに太陽の家」へお問い合わせ下さい。 ☎0220-23-9755

●河島英五記念基金●

for Nature, for Future, for Children. ～次世代への伝達～

『酒と泪と男と女』などで知られる、歌手の河島英五の意思を継ぎ、2008年1月1日に発足された基金です。未来を生きる子ども達により良い環境を残す為に、様々な自然保護団体に補助金を出資して下さっています。手のひらに太陽の家の運営資金を寄付して下さいました。



日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。

●紫舟アトリエ●

NHK ドラマの『龍馬伝』、白鶴醸造のCMなど、世界的に有名な書家、紫舟(ししゅう)さんが構えるアトリエです。手のひらに太陽の家の看板のデザインを提供して下さいました。



●子どもたちを放射能から守る

福島ネットワーク●

東日本大震災に伴った福島原発事故を受け、放射線の影響に不安を持つ父母が集まり、子どもたちを放射線から守るために何が出来るかを話し合い、2011年5月1日に発足しました。手のひらに太陽の家の広報や利用者の方の募集にご協力いただいています。



支援団体の紹介



『手のひら応援グッズ。販売中!』

手のひら応援グッズの販売中です!クリアファイル、ハガキ、石けんをスタッフ、利用者さん、地元の方々と協力してデザインし、制作しています。(※石けん、ハガキ、シールは製作中です。)手のひらに太陽の家の活動が継続されることを多くの利用者の方々が望んでいます。みなさま、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

→詳細は手のひらに太陽の家までお問い合わせ下さい。「☎0220-23-9755・メール:info@taiyounoie.org」

手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

平成24年7月21日の開所から、のべ177組3044名のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。(平成25年8月20日) 今後、継続して活動を行っていくには、皆様のご支援が必要です。1人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行(シチジュウシチギンコウ) 築館(ツキダテ) 支店 店コード700

【口座番号】 普通預金 5411882

【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金

理事長 佐々木豊志(ササキトヨシ)

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【マンスリーサポーター】もあります。

詳しくはHPまで*「手のひらに太陽の家」で検索!